

## 第2回

# 第9期印西市高齢者保健福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会 会議録（要旨）

令和5年8月31日

**第2回 第9期印西市高齢者保健福祉計画及び  
介護保険事業計画策定委員会  
会議録(要旨)**

会議体の名称	第9期印西市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会	
事務局	印西市高齢者福祉課	
開催日時	令和5年8月31日(水)午後2時00分～午後3時30分	
開催場所	印西市役所附属棟 23・24会議室	
議題	1. 開会 2. 議題 (1) アンケート調査結果報告について (2) 第9期介護保険事業計画の基本指針(大臣告示)のポイント(案)について (3) その他 3. その他 4. 閉会	
出席者	委員	川久保平一、宮崎康子、永代成日出、中島信行、松信精一◎、大内美弥子、近藤幸一郎、永田庄吾、柴田勇介、蓮實篤裕 ◎は委員長 欠席 加藤友輔、羽多野陽子
	市(事務局)	澤田課長、山田課長補佐、櫻井、小塚、鈴木、佐藤 (委託業者 株式会社ぎょうせい 主任研究員小林)

傍聴人2名

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議次第</li> <li>● 資料1 第9期印西市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画アンケート調査報告書</li> <li>● 資料2 第9期介護保険事業計画の基本指針(大臣告示)のポイント(案)</li> </ul>
------	---

【会議録】※氏名記載省略、敬称省略

1. 開会

(委員出席等について確認)

2. 議題

(1) アンケート調査結果報告書について

資料1に沿って、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の概略を説明。

○委員 アンケートサマリーを出してほしい。

○事務局 サマリーを出して、次回会議で改めてご説明します。

(2) 第9期介護保険事業計画の基本指針(大臣告示)のポイント(案)について

資料2に沿って、第9期介護保険事業計画の基本指針(大臣告示)の概略を説明。

○委員 介護施設を運営しているものです。印西市の人口増加に合わせて高齢化率が高くなってきている。第8期でも人材確保については触れていますが、介護施設での人材確保は非常に困難となってきている。1点目は、介護施設での介護人材確保について、印西市独自でも考えてほしい。2点目は、介護施設の入所希望者の実態把握をしてほしい。申請ベースだと重複して申請するケースがあり、実態としての数字が把握しづらい。

○委員 第9期の計画では地域の実情に応じた計画を作ることが重要と考えています。質問としては、地域包括支援センターは重要度が増している一方で、国の基本指針では業務負担軽減ということが出ているのが、その背景について教えてほしい。

○事務局 地域包括支援センターで介護予防ケアマネジメントを行っているのですが、要支援1・2のケアマネジメントを直接介護事業所へ委託できると、そのことを国から出ている方向性では業務負担軽減と言っているのではないかと、現状では読み取っています。

○委員 日本人ではなかなか介護士になるという方が増えていないと思っています。だから外国人人材の方を採用できるような形がとれればと思います。前回の計画で、外国人人材の定着支援について取り組むとありました。また、印西市で外国人定着支援として公表されていたと思います。現在、印西市の外国人人材の人数について把握されているのでしょうか。

○事務局 外国人人材の人数については把握していません。ただ、事業所にいることは把握しております。外国人人材の確保に向けて、家賃補助事業を印西市で独自に行っております。今のところ申請はまだ上がってきていないという状況です。

○委員 介護施設を運営しているものです。うちの施設では10名ほどおります。いろんな入り方があるって、留学生で入ってきたり、千葉県留学生プログラムを使って、日本語学校や専門学校を卒業して、介護職になったりするという流れもあります。それから、介護の技能実習生といわれる雇用形態で、介護士を目指す。日本にいる人で特定技能の制度を使って介護仕事しながら5年間で介護士の資格と永住権、それで介護の仕事続けてもらうなど。ただ、費用的には受け入れに莫大な費用がかかる。家賃は全額補助、国によっては給料もこの水準でないとダメとか。なかなか手を出しにくいと考えています。

○事務局 自治体としても、現場の声を拾いながら実施しています。門は広く開かれています。ただ、課題点があり、正規ルートであるか、ちゃんと雇用いただける事業所であるかなど審査基準に則り受け入れができるかなど、難しい部分があります。他の自治体でも外国人人材に向けた施策がない中で、印西市は、家賃補助から入り、あとはニーズに合わせた生活支援をやったほうがよいのではないかと考えて、外国人人材への家賃補助を始めたところです。

○委員 人数的には、外国人人材を入れていかないといけないというのはあるのでしょうか。

○事務局 施設の意見を聞いたところ、新規の日本人の方の募集をかけたもなかなか入って来ない。ただ、外国人人材の場合は、今の円安の影響もあり、今後どうなるかは想定ができないです。

○委員 日本人の場合というのは、時給が安いというのがあると考えています。日本人の介護人材をもっと増やそうと思ったら、もっと時給を上げないと。介護士さんを見てても全体的に安いんです。こういったらあれですが、スーパーのレジの方の時給とほぼ変わらないです。

○委員 施設現場の話をするの時給をあげるのは、経営的に難しい。施設の場合、何床というのは決まっていて、頭打ちの状況です。介護者を入居者3人に一人、2人に一人にしてもリスクが高まってしまう。実際、稼働率100%にしても赤字続きだったりするので、ある程度時給に関しては抑えていかないといけない。施設の修繕費に当てられなかったり、いろんなものに当てられなかったり、苦しい状況です。

### (3) その他 特になし

## 3. その他

次回策定委員会につきましては、準備が整い次第委員の皆様へ通知し、調整をしたいと思います。

## 4. 閉会

以上

第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会第2回会議の議事録は、事実と相違ないことを承認する。

議事録署名人 蓮實 篤祐

議事録署名人 柴田 勇介